

# 新型の樹木破碎機が完成

三陽機器

## 低価格でも本格派

### 狭い現場に適した自走式

三陽機器(株) (寺前公平社長・岡山県浅口市里庄町新庄3858) はこのほど、小型コンパクトなボディに、本格チップパー並みの能力を詰め込んで低価格化を実現した高性能樹木破碎機「グリーンフレールカGF100」を完成、12月より新発売する。新型機は13・5PS空冷ガソリンエンジン搭載の機動力に優れた自走式。最大破碎径もクラス最大の100mmと本格チップパー並みながら、98万円という低価格を実現している。また小型・軽量化に成功するとともに、小回りが効くホイール駆動を採用しているため、山道や住宅街の狭い道、果樹園・造園・公共施設など、狭い現場での作業に威力を発揮する。



寺前社長

環境保全への取り組みが進む中、廃棄物処理法の改正に伴い、野焼きの禁止、簡易焼却炉の禁止等規制が強化され、自治体・企業・家庭あげて廃棄物リサイクルに対する意識が高まりつつある。

同社では、平成12年より木質系廃棄物の有効活用に貢献する樹木破碎機「グリーンフレールカ」の商品化を進め、これまでトラックマウント式、自走式、軽トラック搭載式など中小型5機種をシリーズ化して発売、好評を得ている。

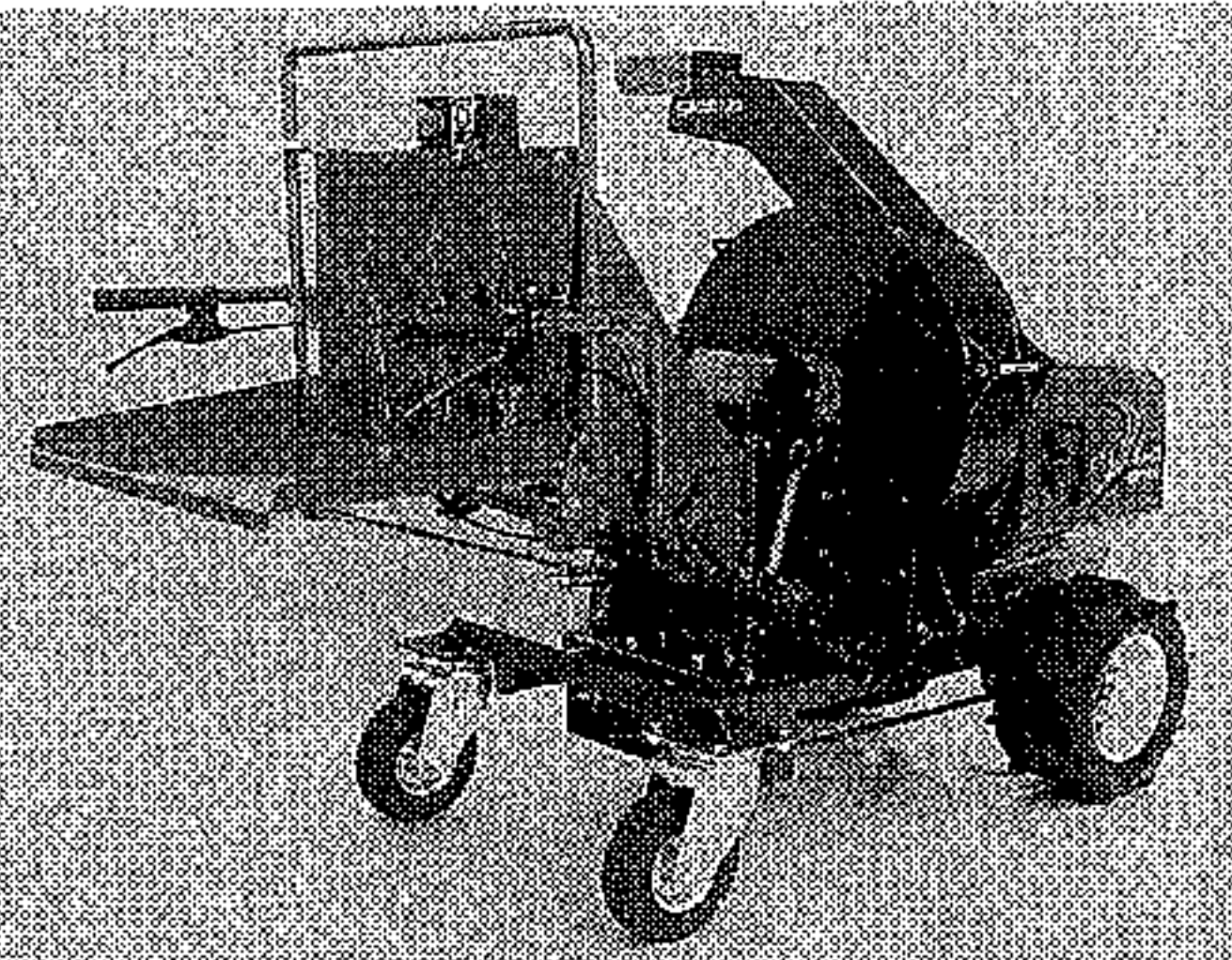
今回の新型「グリーンフレールカGF100」は、各方面より要望の高かつ

た「本格派ながら、安価で小型軽量の自走式を」というニーズにこたえて開発したものの、13・5PSエンジンを搭載、破碎装置も上位機種と同等の耐久性の高い剛構造体を採用。最大破碎径もクラス最大の100mmという本格派である一方、狭い道やスペースのない作業現場で使いやすいよう、小

型軽量化と小旋回可能な小回り性能を実現している。また、高性能機でありながらコスト面でも低価格化に成功、98万円という求めやすい価格を打ち出している。

#### 【主な特徴】

①破碎径はクラス最大の100mmで、心臓部のロータ(フライホイール)は重量バランス設計のため慣性力・耐久性に優れている。破碎装置も上位機種と同等の耐久性の高い剛構造体を採用。  
②駆動輪はワイドタイヤでホイールボスフリー方式の操舵方法を採用。小旋回ができ現場での移動がスムーズ。  
③チップパー刃・受刃は耐久性に優れた2面刃を採用。両面使用ができる。



グリーンフレールカGF100。小型コンパクト、狭い場所で威力を発揮

研磨で再使用(3~4回)できランニングコスト低減につながる。

④排出はブロワーによる空気搬送式を採用。枝葉・残幹・水分が多い剪定枝も詰まることなく効率作業が行える。

⑤破碎作業と走行操作レバー類をすべて手元集中配置し、優れた操作性を実現。

⑥破碎物送り装置はフイードレバーで簡単操作。正逆回転・停止がワンタッチでスピーディーな送り込みができ、跳ね返りのない安全作業が行える。

⑦デッドマンクラッチ方式で、走行時の安全性

⑧非常停止ボタンでエンジンが停止。緊急事態に対応した安全設計。

⑨ロータリーカバーは簡単にフルオープンでき、チップパー刃などメンテナンスが容易。

#### 【仕様】

- ▽機体寸法 長1700×幅900×高1350mm
- ▽質量 315kg
- ▽エンジン 空冷ガソリン 13・5PS(9・9kW)
- ▽破碎装置 駆動ベルトクラッチ・ホップ径600×400mm
- ▽最大処理径 100mm
- ▽送り速度 16分/分
- ▽排出装置 空気搬送式・シューター出口高さ1350mm